©2019 GUSHIKEN,Tohru

午前Ⅱ試験 各分野における頻出キーワード（令和2年度試験受験用）

出題分野ごとの出題頻度と頻出キーワードを以下に示します。頻出キーワードは頻出もしくは最新の出題キーワードです。プロジェクト・マネジメント以外の分野も含め，押えておきましょう。

分野	大分類	中分類	小分類	出題頻度	出題キーワード
テクノロジ系	技術要素	セキュリティ	情報セキュリティ	■	SSL，AES
			情報セキュリティ管理	□	CSIRT
			セキュリティ技術評価	□	
			情報セキュリティ対策	□	
			情報セキュリティ実装技術	■	DNSSEC，テンペスト技術，ペネトレーションテスト
	開発技術	システム開発技術	システム要件定義	□	
			システム方式設計	□	
			ソフトウエア要件定義	■■	SOA、データ中心アプローチ、状態遷移図、CRUDマトリックス
			ソフトウエア方式設計 ・ソフトウエア詳細設計	■■	オブジェクト指向の各キーワード，モジュール分割技法，モジュール強度
			ソフトウエア構築	■	コードインスペクションによる効率化，テストケース作成方法，エラー埋め込み法
			ソフトウエア結合 ・ソフトウエア適格性確認テスト	□	
			システム結合 ・システム的確性確認テスト	□	
			導入	□	
			受入れ支援	□	
		ソフトウエア開発管理技術	開発プロセス・手法	■■■	リバースエンジニアリングの説明，開発モデル，リポジトリの説明，共通フレーム2007，CMMI，アクセシビリティ，SPA，マッシュアップ，リーンソフトウエア開発，ペアプログラミング，リファクタリング，テスト駆動開発
			知的財産適用管理	□	
			開発環境管理	□	
			構成管理・変更管理	□	
マネジメント系	プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメント	プロジェクト統合マネジメント	■■■	組織のプロセス資産，プロジェクト憲章
			プロジェクト・スコープ・マネジメント	■	WBS，ワークパッケージ，ローリングウェーブ計画法，重み付けマイルストーン法
			プロジェクト・タイム・マネジメント	■■■	アローダイアグラムの解釈，ガントチャートの説明，作業配分モデル，ファストトラッキング，クリティカルチェーン法，クラッシング，資源カレンダー
			プロジェクト・コスト・マネジメント	■■■	トレンドチャート，COCOMO，ファンクションポイント法，EVM，IFPUG法，ベロシティ
			プロジェクト・品質マネジメント	■■	ソフトウエア品質特性，QC7つ道具，7の法則，All-Pair法
			プロジェクト・人的資源マネジメント	■■	アローダイアグラムと必要な人的資源，責任分担マトリックス，RACIチャート，ブルックスの法則，タックマンモデル
			プロジェクト・コミュニケーション ・マネジメント	■	コンフリクトマネジメント，傾向分析
			プロジェクト・リスク・マネジメント	■■■	リスクマネジメントの説明，デルファイ法の活用，リスクファイナンス，リスク対応戦略，EMV，トルネード図
			プロジェクト・調達マネジメント	■	コストプラスインセンティブフィー契約
			プロジェクト・ステークホルダー・マネジメント	■	
	サービスマネジメント	サービスマネジメント	サービスマネジメント	■	SLAの説明
			サービスの設計・移行	□	
			サービスマネジメントプロセス	■	変更管理プロセス，ITサービス継続性管理，サービストランジション
			サービスマネジメント構築	■	
			サービスの運用	■	必要な保守要員数の計算，処理中断時間と再策費用・損失額と復旧時間のグラフ，データ管理者(DA)
			ファシリティマネジメント	□	
ストラテジ系	システム戦略	システム企画	システム化計画	■	E-Rモデルを用いて全社のデータモデルを作成する手順，シャドーIT
			要件定義	□	
			調達計画・実施	□	
	企業と法務	法務	知的財産権	■	著作権の帰属，不正競争防止法で保護されるもの、ビジネス方法の特許
			セキュリティ関連法規	□	特定電子メール法
			労働関連・取引関連法規	■■	労働者派遣法，下請代金支払遅延防止法，36協定，派遣労働者の受入れ，就業規則に係る使用者の記述
			その他の法律・ガイドライン ・技術者倫理	■	プライバシー保護ガイドラインの説明，個人情報保護法，国際エネルギースターロゴ，RoHS指令
			標準化関連	□	文字コード，日本工業標準調査会

※出題頻度の凡例　■■■：毎年平均2～3問出題　■■：毎年平均1～2問出題　■：毎年平均0～1問出題　□：まず出題されない
※平成31年度の本試験の内容より，上記資料における出題頻度，頻出キーワードを一部見直しました。